

令和3年度第1回宇部市環境審議会 委員からの質問、意見への回答

議題	質問・意見の内容	対応・回答
(2)	P27 二酸化炭素排出量の概要において、一人当たりのCO2排出量が大きい原因についてさらに詳しい情報が載きたい。また、灯油の使用量が大きく減少しているという記述があるが、データがあるのであれば記載いただきたい。	本市は産業部門、工業プロセス部門からの排出量が多いことから、全国と比較し、一人当たりのCO2排出量が多いですが、民生部門に限れば、全国の値を下回っています。灯油の使用量については、都道府県別エネルギー消費統計（家庭_軽質油）、家計調査年報（第4-1表山口市_灯油）を資料としていますが、本市のデータはないため、掲載はしておりません。
(2)	P30 カーボン・オフセット推進事業については、2050年カーボンニュートラルの実現に向けてブルーカーボンによるカーボンオフセット事業を含む様々な事業を検討すべきである。	今後の具体的な事業を検討するにあたり、カーボンニュートラルの実現につながる一手法として、今後の参考にいたします。
(2)	P31 小水力発電設備の規模2.4Wは誤植ではないか。	御指摘の通りであり、訂正いたします。
(2)	第2章は直近7年程度のデータを示していることが多いが、過去30年程度の長期的なグラフも同時に示していただきたい。	グラフの数も多く、また紙面の都合もあるため、30年分のグラフの掲載は困難であると考えます。
(2)	P71 H30年度の一般廃棄物処分量が急増したのはなぜか。	現在稼働中の最終処分場の竣工が遅れたことで、旧東見初埋立地に仮置きしていたものの移送分が含まれていることによります。
(2)	P78 ビオトープ二俣瀬、街のオアシス真締川、ときわミュージアムについては整備主体と資金提供状況、整備計画について言及すべきである。	次年度以降の刊行に際して、御意見をいただいた項目の掲載を検討いたします。
(2)	P105 家庭における環境活動の促進というところで環境NPOとの連携事業のみがクローズアップされているが、どの程度の数の市民をあげた取組となっているのか規模がわかりにくい。そして宇部市としてどのように市民の環境への配慮活動を促進したのかについての報告が必要である。	取組の規模につきましては、実績の把握に努めてまいります。本市から市民への環境配慮活動への促進方法についても、次年度以降の刊行に際して、可能な限り掲載していくよう努めてまいります。
(2)	P106 自転車の利用をすすめることが自家用車の利用を削減する一つの方法であることから、サイクル県やまぐちプロジェクトとの連携を図り、自転車道の表示を進め、優先的に整備することで魅力ある自転車道があるようにすべきである。また、ときわ公園にも自転車乗り入れを可能にするような仕掛けを取り入れるべきではないか。	本市では、令和2年9月に「宇部市自転車活用推進計画」を策定し、自転車の活用を推進するため、安全で快適な自転車通行空間の整備や自転車利用者の安全意識の向上などに取り組んでいます。ときわ公園への乗り入りについては、来園者の安全面の確保を第一に考え、禁止としているところですが、いただいた御意見を今後の参考にいたします。

令和3年度第1回宇部市環境審議会 委員からの質問、意見への回答

議題	質問・意見の内容	対応・回答
(2)	P107 一人一日当たりのごみの量が全国平均を上回っているのは問題であるが、組成に関する分析が既になされていれば具体的なアイデアも収集できる。アイデアを求める前に情報収集・分析が必要ではないか。私見であるがコンポスト容器に関する積極的な周知や助成によって生ごみを減らせる可能性は大きい。	御意見を参考にしながら、今後検討してまいります。なお、本市では、生ごみ処理機とガーデンシュレッダー購入費用の助成制度があり、一般家庭等から排出される生ごみ及び剪定枝葉の減量化及び再資源化を推進しているところです。
(3)	第三次宇部市環境基本計画の策定につきましては、資料2の策定スケジュールを見ますと今回の審議会で骨子案の審議を行う予定のようです。が、今回の資料には骨子案が示されておりませんでした。今回は間に合わなかったということでしょうか。今後、骨子案を提示いただき、審議するスケジュールについてお示しください。骨子案の審議は重要と考えますので、書面会議ではなく、対面またはオンラインでの会議を希望いたします。	貴重な御意見をありがとうございます。第三次宇部市環境基本計画の骨子案の審議は、御指摘のとおり重要であると考えますので、審議会にお諮りさせていただきます。次期環境審議会を令和3年7月29日に、対面及びオンライン併用にて開催いたしますので、御審議のほどよろしくお願いいたします。
(3)	計画策定の視点として6つの視点が挙げられているが、例えば、SDGs17目標の中には、他の視点と重なる者があると考えられる。視点同士の関係も整理する必要があると考えられる。	御意見のとおり、SDGsの17目標は6つの視点のどれかに属するものでなく、それぞれの重なる部分や影響する部分があると認識しています。6つの視点は計画の柱に位置づけられるものではなく、今後、お示しする骨子の施策体系及びぶら下がる個別事業に6つの視点を取り入れることをイメージしたものです。
(3)	国際的取組の推進について、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策により本邦研修受入れが困難な中、新しい取組として、開発途上国の方へオンラインでの環境教育を実施いたしました。オンラインでの環境教育や環境についての情報交換等を行うことが可能となりましたので、第3次環境基本計画においてはオンラインでの環境教育や、併せて時々行っている留学生への環境教育も指標として取り入れるというのはいかがでしょうか。	第3次環境基本計画の指標の選定にあたり、御意見を参考にしながら検討を進めてまいります。

令和3年度第1回宇部市環境審議会 委員からの質問、意見への回答

議題	質問・意見の内容	対応・回答
(3)	策定にあたっての基本的認識（とりわけ気候変動に関するパリ協定と日本の対応、中でも2050年カーボンニュートラル社会へ向けての取組、SDG s 実現への取組、地域循環共生圏の考え方に基づく宇部市での取組、の重要性）については大変結構であると思います。脱炭素社会に向けて大きな時代の転換点に差し掛かっているとの認識の下、宇部市におかれても大胆かつ野心的な計画を策定されることを期待します。	御期待に添えるような第3次環境基本計画が策定できるよう、検討を進めてまいります。
(4)	西沖の山発電所新設計画が取りやめになったことは、時代の趨勢から当然のことであると思います。事業者にとっては困難な決断であったと推測しますが、逆に経営層が時代の趨勢をみる先見の明の乏しさ、環境に対する認識が乏しかったことを示しています。	貴重な御意見をありがとうございます。
(5)-ア	セントラル硝子の配管漏洩については、点検・対策を社内水平展開しているか？	水平展開で同様の腐食が発生する場所を調査した結果、この工程のみであったため、対策は本工程のみとなります。また、対策の健全性を確認するため、テスト配管を用いて調査を行いました。対策に問題が無いことを確認しました。
(5)-イ	整備時に推奨トルク値以上でボルトを締め付けているかどうか、その確認はどのように行うのか？	自動弁をメーカーに提出する際は、工事発注仕様書に当社がメーカーに支給しているトルクレンチを使用して、メーカー推奨値以上のトルクで締め付ける様に記載し発注しています。整備後はメーカーから発行される検査書に記載されている締め付けトルクを工事担当部署で確認しています。また、不定期ではありますが、メーカーでの整備時に立会いをしています。

令和3年度第1回宇部市環境審議会 委員からの質問、意見への回答

議題	質問・意見の内容	対応・回答
(5)-ウ	水処理や環境計測の専門家でなければ、T-Nが全窒素であることが分からない可能性がある。T-N（全窒素）という表記を報告書の初めの方に記した方が良い。報告時点では配管の埋設解消を計画的に進めることとしているが、その後の状況についてはどのようになっているのか？	T-Nとは全窒素であることをわかるように報告書の最初にでてくる箇所で「全窒素（以下、T-Nと表記）」とします。略称や専門性の高い記載内容は出来る限り、分かりやすく表現するように努めます。 ケミカル工場内で排水影響のある流体が流れている埋設配管について調査しその結果、該当箇所が21か所あることが判明しました。このうち、本件（硫安漏洩）を含め8か所の埋設解消を完了しています。（完了率；38%）今後、3年間を目途に残る箇所についても埋設解消を進めていきます。
(5)-エ	清掃品運搬時に肥料を排水溝に零したことが原因であるとしているが、一輪車による肥料運搬作業は頻繁に行われているのか？事後の環境安全教育においては製造に直接関わらない作業においても物質の漏洩などに注意が必要だという趣旨で教育を行ったのか？	一輪車での肥料運搬作業は掃除及び片付け時のみで、頻度としては1回/日です。教育に関しては製造時に関わらない作業（受入れや移動等）においても取扱いに注意し、漏洩を起こさないよう教育しています。
(5)-オ	ベアリングのグリスアップで騒音が解消したとのことだが、結局の原因はベアリングの変形あるいは摩耗ということになるのか？そうだとすれば、ベアリングの変形あるいは摩耗を引き起こしたのはファンのバランスが問題か？根本的な原因について教示していただきたい。	応急対応として、ベアリングのグリスアップを行いました。若干の騒音低減はみられたものの解消には至りませんでした。その後、ファン分解整備、バランス調整を行い解消されたため、ファンのバランスが原因と考えます。ファンのバランスが悪くなる要因としては、経年劣化やバグフィルターろ布破れによる石膏付着が挙げられます。 現在はバグフィルター設備全体（ファン、ベアリング、ろ布、Vベルト、モータ他）の設備管理を徹底し、再発防止に努めております。
(5)-カ	水処理や環境計測の専門家でなければ、TPが全リンであることが分からない可能性がある。TP（全リン）という表記を報告書の初めの方に記した方が良い。雨水桝に汚泥が溜まっていて、汚泥中のリンが雨天時に雨水桝から排水溝に溢れて全リン値が協定値を超えたという理解で良いか？	TP（全リン）の表記についてはご指導の通り注意して参ります。 超過の原因は、雨水桝に溜まっていた汚泥及び汚泥を含んだ水が雨水桝の劣化により劣化箇所から排水溝に流れた事が原因です。